

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル横浜港南Ⅱ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズが客観的に分析された個別支援計画書が作成されている点	面談時には、保護者から家の様子を聞くだけでなく、どのような点を集中して見てほしいかを確認している。 特にアセスメントが適切な支援に最も大切と考え、特に丁寧にを行うことを意識している。	アセスメントの質をより高めるため専門的知識を深め、保護者により安心して話してもらえるような面談を意識していく。
2	保護者への説明および面談、送迎時の情報共有が適切になされている点、保護者が相談した際に迅速に対応する点	事業所での様子を伝えるだけでなく、その際にも家庭の様子を少しだけ伺いどのような支援が適切かを事業所内で話し合っている。 また、保護者からの相談は迅速に適切に対応することで信頼関係の構築を行っている。	事業所内の様子を的確に伝え、より安定した支援を行えるように家庭間だけでなく学校との連携も保護者を通していく。
3	子どもが安心して来所できる環境を整えられている点	児童の安全を第一に考え、角や階段など危険箇所へクッション性のカバーを設置し万が一ぶつけても大けがに発展しないような取り組みを行っている。	床材のクッション性や設置物を減らし、怪我ができない事業所を目指して環境の整備を行っていく。 また、事業所のスペースを利用し子どもが落ち着きたいときに静かに過ごせる場所の提供も行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族が参加できる研修会及び情報提供の場が少ない	父母の会や保護者会等が行えていない。 保護者参加型のイベントは行えているが保護者間での交流の場が少なく保護者向けの研修会等もない。	保護者向けの研修の検討、保護者会の開催 事業所に保護者と子どもと一緒に来れるイベントなど保護者にフォーカスした活動を年に2回ほど導入するなど
2	事業所の環境が保護者に伝わっていない	保護者が面談に来た際に確認できるのが相談室のみの為、どのような環境やどのくらい安全を考えているのかが伝わりにくく、変更した点も公表していないため。	保護者が面談に来た際に現在の環境を見て知ってもらい、意見も言ってもらう。第三者の客観的な視点から見た際に気付く危険性が見つかるかもしれない。 事業所内での安全取り組みを公表していく。HUGの活動記録を利用し、事業所の変更点を写真付きで保護者が見れるようにする。
3	非常勤職員の意見が聞かれていない	意見を聞く場を作ることができていない。 以前から言われたところが改善されていない。 上記2点から「言ってもしかたない」と思わせてしまっている。	匿名での事業所に対する改善要求の場を作成し、全職員で協議して改善策を出していく。 常勤・非常勤関係なしに良い意見を積極的に取り入れ、見通しの良い職場環境を作成する。